



平成 30 年 5 月 8 日

各 位

会 社 名 株式会社 イオレ
 代表者名 代表取締役社長 吉田 直人
 (コード：2334、東証マザーズ)
 問合せ先 取締役 中井 陽子
 (TEL. 03-4455-7092)

平成 30 年 3 月期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 29 年 12 月 15 日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成30年3月期業績予想値と今回修正予想値の差異（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(単位：百万円)	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	1,541	200	178	125	65円63銭
今回修正予想 (B)	1,550	169	155	91	47円24銭
増減額 (B-A)	9	△31	△23	△34	
増減率 (%)	0.6	△15.6	△13.0	△27.7	
(ご参考) 前期実績 (平成29年3月期実績)	1,157	116	112	127	83円94銭

- (注) 1. 当社は子会社がありませんので、連結財務諸表は作成しておりません。
 2. 今回修正予想の平成30年3月期(修正予想)の1株当たり当期純利益は、期中平均発行済株式数により算出しております。
 3. 前回予想の平成30年3月期(予想)の1株当たり当期純利益は、公募株式数(株)を含めた予定期中平均発行済株式数により算出しております。
 4. 当社は、平成29年8月29日付で(普通)株式1株につき100株の株式分割を行っております。このため、平成29年3月期の期首に当該株式分割が行われたものと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

2. 修正の理由

平成30年3月期業績に関しましては、売上高は堅調でありましたが、求人広告市場における運用型広告への急速なシフトを受け、売上商品構成が当初の想定以上に「pinpoint」並びに「その他」の運用広告に偏ることとなりま

した。これら原価率の高い商品の売上が伸びる一方で、原価率の低い自社媒体の販売が未達となったことなどから、原価率が上がり、営業利益、経常利益、当期純利益が予想値を下回る見込みとなりました。具体的な内容は次の通りです。

(1) 売上高

売上高は前回予想値1,541百万円に対し、今回予想値は1,550百万円と前回予想値を上回る見込みとなりました。売上の構成といたしましては、「pinpoint」が前回予想売上高491百万円に対し、今回予想値は498百万円、「その他」が前回予想売上高438百万円に対し、今回予想値は473百万円であります。これらサービスが前回予想値を上回る見込みの一方で、「らくらく連絡網」は、前回予想売上高255百万円に対し、今回予想値は241百万円、「ガクバアルバイト」は、前回予想売上高209百万円に対し、今回予想値は195百万円、「らくらくアルバイト」は前回予想売上高146百万円に対し、今回予想値は142百万円となります。

これは、年明け以降、当初の想定よりも採用広告領域における運用広告の引き合いが増加した結果、当社の営業現場において、自社の「らくらく連絡網」「ガクバアルバイト」よりも「pinpoint」を軸に「その他」の運用広告の営業が中心となったためです。

(2) 売上原価

売上原価は、直接費と、製造原価に分類して計画しておりますが、直接費につきましては、売上高が堅調に推移した「pinpoint」「その他」については、「らくらく連絡網」「ガクバアルバイト」「らくらくアルバイト」と異なり、仕入れが発生することにより直接費が高く、結果、直接費は、前回予想値541百万円から、今回予想値は576百万円と増加いたしました。

また、製造原価に関しましては、技術開発リソースを社内ネットワーク強化やサービス運用、次世代サービス検討に振り向けた結果、ソフトウェア振替額が、当初の想定より12百万円減少することを主要因として製造原価が増加する見込みとなりました。(製造原価前回予想値186百万円に対し、今回予想値201百万円)

これらの結果、売上原価が前回予想値727百万円に対し、今回予想値は777百万円と増加いたしました。

(3) 販売費、一般管理費及び営業利益

販売費及び一般管理費については、前回予想値612百万円のところ今回予想値603百万円と抑制される見込みですが、売上原価の上昇を補いきれず、営業利益は、前回予想値200百万円に対し、今回予想値は169百万円となりました。

(4) 当期純利益

(1)、(2)に記載の運用広告への市場環境のシフトとそれに伴う今後の営業方針の転換に伴い、来期以降の業績見通しを慎重に検討した結果、財務の健全性の観点から繰延税金資産の一部を取崩すこととし、法人税等調整額が前回予想値27百万円に対し、今回予想値は38百万円となる見込みです。

上記により営業利益、経常利益、当期純利益は、予想数値を下回る見込みとなりました。

(注) 上記の予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後、様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上